

記号	種類	代表的な化学成分	14 C	7/133
SUS201	オーステナイト系	Ni (3.5~5.5%)、Cr (16~18%)、Mn (5.5~7%)、N(0.25%以下)	鉄道車両部品、自動車トリム、ホイールカバー、食器類等	
SUS202	オーステナイト系	Ni (4~6%)、Cr (17~19%)、Mn (7.5~10%)、N(0.25%以下)		
SUS301	オーステナイト系	Ni (6~8%)、Cr (16~18%) 又は 17Cr-7Ni	冷間加工により高強度を得られます。但し耐食性はSUS304よりやや劣りますが、実用上は同等です。各種ばね部品に広く使われております。	
SUS302	オーステナイト系	Ni (8~10%)、Cr (17~19%)		
SUS303	オーステナイト系	Ni (8~10%)、Cr (17~19%)、Mo(0.60%以下の添加ができる)		
SUS304	オーステナイト系	Ni (8~10.5%)、Cr (18~20%) 18Cr-8Ni	ステンレス全体の中で最もポピュラーな鋼種です。磁性がありません。家庭用品から原子力まで幅広く使われています。冷間加工により硬化しやすい性質を使うことで、ばね用材料としても広く使われます。	
SUS304L	オーステナイト系	18Cr-9Ni-低C	低炭素のため、耐粒界腐食性に優れています。また高ニッケルのため、深絞り性にも優れています。深絞り成形加工品、ヘア絞り成形加工品など。	
SUS305	オーステナイト系	Ni (10.5~13%)、Cr (17~19%) 18Cr-10Ni	高ニッケルのため加工硬化が低く、絞り加工性に優れています(但し張り出し加工性については劣ります)。高ニッケルにすることで、非磁性の性質を有していきます。医療器具、電子銃部品など。	
SUS310S	オーステナイト系	25Cr-20Ni	耐熱性、耐食性に大変優れています。燃焼装置部品、ボイラー、航空機部品など。	
SUS316	オーステナイト系	Ni (10~14%)、Cr (16~18%)、Mo (2~3%)	海水をはじめ各種媒質に304より優れた耐食性がある。	
SUS316L	オーステナイト系	Ni (10~14%)、Cr (16~18%)、Mo (2~3%) 18Cr-12Ni-2Mo-低C	Mo添加による優れた耐食性と、低Cによる耐粒界腐食性を有しています。溶接後熱処理が困難な加工部品など。	
SUS317	オーステナイト系	Ni (11~15%)、Cr (18~20%)、Mo (3~4%)	耐孔食性がSUS316より優れているので、染色設備材料など特に耐食性を求められる箇所に使用されています。	
SUS329J1	オーステナイト・フェライト系	Ni (3~6%)、Cr (23~28%)、Mo (1~3%)		
SUS403	マルテンサイト系	Cr (11.5~13%)	タービンプレードなどに用いられるステンレス鋼です。耐熱鋼としても用いられています。	
SUS405	フェライト系	Cr (11.5~14.5%)、Al (0.1~0.3%)	焼入れ用部品やタービン材、クラッド材として使われます。	
SUS410	マルテンサイト系	13Cr	良好な耐食性と機械加工性をもちます。刃物類。セルフタッピングビス等	
SUS420	マルテンサイト系	Cr (12~14%)…炭素量によって細かく分類される	焼入れ後の硬さが高い鋼種です。刃物、直尺など。	
SUS430	フェライト系	Cr (16~18%) 又は 18Cr	耐食性の優れた汎用鋼種です。器物、家電部品など。磁性があり熱伸縮が少ない。	
SUS430LX	フェライト系	Cr (16~19%)、TiまたはNb (0.1~1.0%)		
SUS630	マルテンサイト系析出硬化型	Ni (3~5%)、Cr (15~17.5%)、Cu (3~5%)、Nb (0.15~0.45%)	Cuの添加で析出硬化性をもたせた鋼種で、析出硬化により強度が上がるので、シャフト類、タービン部品に用いられています。	